

National Institute of Technology(KOSEN), Ube College

学校だより

[2024.01.01]

vol. 106



[02] 校長室の窓から

[03] 半年を振り返って

[04] [05]

キャリア支援室からの留意事項
就職活動・進学活動に向けて

[06] [07]

後輩たちへのアドバイス
就職・進学活動を終えて

[08] [09]

今年度の学生活動

[10] [11]

国際交流活動報告

[12] プロジェクト学習報告

[13] [14] [15]

各種大会優秀者の報告
プロコン/ロボコン報告

[16] **UBE KOSEN TOPICS**



校長室の窓から

学生の活躍に期待

4月に宇部高専に赴任し、印象に残っているのは、学生達の活躍です。中国地区高専体育大会では、硬式野球、サッカー、バドミントンなど多くの競技で優秀な成績を収めました。全国大会でも硬式テニス女子ダブルスが優勝するなど活躍しています。ロボットコンテストでは2チームとも審査委員特別賞を受賞し善戦しました。プログラミングコンテストでも競技部門においてFinal Stageに進出しました。



▲中国地区高専大会優勝（サッカー部）

また、宇部市高校生ビジネスプランコンテストにおいて、2年生、3年生のチームが最優秀賞を、2年生、1年生のチームが審査委員特別賞をいただいています。今年度本校には、起業家教育を支援するためのスタートアップ事業で補助金をいただきました。今年度中にはラーニングコモンズに3Dプリンタ、レーザー加工機、3Dスキャナなどが整備され、交流スペースとして開放される予定です。大いに活用してください。

高専祭やクラスマッチ、寮祭でも学生のポテンシャルの高さとパワーを感じました。このような各種イベントの運営、参加を通じてさらに創意工夫できるようになることを期待しています。

今年度の夏休みには60名の学生が海外研修に参加し、発表会ではその成果を披露してくれました。得難い貴重な体験を通し、参加した学生たちの成長をまぶしく感じました。来春にも17名の学生が海外研修に参加します。



本校は現在11名の長期留学生在学し、前期15名、後期16名の短期留學生を受け入れました。これらの留學生を通じたオンキャンパスでの国際交流を期待しています。

内閣府のAI戦略2019では文理問わず全ての大学・高専生が数理・データサイエンス・AI教育プログラム リテラシーレベルを習得することを求めている、本校は既に対応済みです。全てのエンジニアに「何をやりたいか伝える力」、「できたものを確認する力」が求められています。また一定規模の大学・高専生に、自らの専門分野への数理・データサイエンス・AI応用基礎レベルの習得が求められており、本校でも応用基礎レベルのプログラムの準備をしています。宇部高専卒業生にはデジタル技術を活用し工夫できるDXマインドを修得してほしいと思っています。



▲中国地区高専ロボコン大会

学生の時期は、成績や友人関係などさまざまなことで悩むことが多いと思います。悩むことはあたりまえのことです。自分で消化できないと少しでも感じたら、相談室等で必ず相談するようにしてください。最後に最近多くの学生が挨拶をしてくれてとてもうれしく思います。楽しい高専生活を送る上で、挨拶はするものという気持ちで、仮に相手の反応がなくても今後とも挨拶を継続してください。

宇部工業高等専門学校
校長 金寺 登

KANEDERA Noboru

半年を振り返って

校長補佐〔教務主事〕 仙波 伸也

SENBA Shinya



令和5年度も第3学期が終わりました。5月に新型コロナウイルスが感染法上の5類に移行され、徐々にコロナを意識しない落ち着いた日常生活を送ることができるようになりました。しかし、現状でも季節風インフルエンザとコロナの感染が広がっておりますので、健康管理については十分にお気を付けください。

さて、春のお便りでお伝えしていた文部科学省の数理・データサイエンス・AIに係るリテラシーレベル教育について、8月に本校の教育プログラムが認定を受けましたのご報告いたします。このプログラムを通して、学生は新たな社会Society 5.0で活躍するために必要な人工知能、ロボット技術、IoT、ビッグデータなどの基礎知識・技術を学ぶことができます。さらに本校では、リテラシーレベルの上位となる応用基礎レベルの教育プログラムの構築にも着手しました。応用基礎レベルでは所属している学科の専門分野において、数理・データサイエンス・AIを使い

こなせる能力を身につけることが目標になります。今後ますます社会で必要とされる情報デジタル技術の獲得に向けた教育改善を推進してまいります。

一方、新しい社会や経済への変革が世界的に進む中、持続可能な社会を快適にするために新たなイノベーションの創出が期待されています。そこで、本校では今年度より急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神であるアントレプレナーシップの教育に注力しています。自ら課題を発見し、自分事として捉えて解決し、新たな価値を生み出していく、そのために自らの専門分野外にいる人たちと関わり、それぞれの得意分野を活かして協働する、このようなマインドの必要性を十分理解して実践できる人材になってもらいたいとの思いです。教育活動については、別項の「プロジェクト学習の報告」で紹介いたします。活動を推進するとともに学生がアイデアを自由に具現化できるように、3Dプリンタや3Dスキャナ、レーザー加工機、高性能情報処理端末などを備えた起業家工房を新たに設置しております。

最後に、本校では将来を見据えた技術者教育の改革を常に遂行して参ります。そして、卒業する学生全員が備えるべき能力を身につけ、宇部高専を誇りに思えるように指導に努めます。保護者の皆様におかれましては、引き続きのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

校長補佐〔学生主事〕 藤田 活秀

FUJITA Katsuhide



今年度より学生主事として校務に携わり半年が過ぎました。保護者の皆様には日頃より学生の活動にご支援を賜り、感謝致しております。

今年度の学生部は「学生会活動の活性化」をスローガンに活動を進めております。コロナ禍で制限されていた活動がほぼ解除されつつあり、学生会主催で七イベントや短期留学生のウェルカムパーティ等が実施されました。再開された活動としましては、全国高専体育大会に参加する選手への壮行会が、関係する学生限定でしたが体育館にて対面で実施されました。また後期のクラスマッチでは、久しぶりに閉会式をグラウンドで全員参加の対面で実施し、成績の結果発表に学生達は盛り上がっていました。11月18日、19日には節目となる60回目の高専祭が

開催されました。初日はあいにくの荒天となりましたが、露店が再開されればコロナ前と同じ形での開催で多くの一般の方にもご参加いただき、活気のある高専祭になりました。

学生会執行部では、4月の学生総会において、後期のクラスマッチを学校全体の交流を図るための新たな企画として「体育祭」を提案しました。オンライン投票の結果、反対多数（賛成：308、反対：329）で見送りとなりましたが、こういった新たな企画を提案することは「学生会活動の活性化」においてとても重要なことだと思います。今回の反対多数に懲りず、今後もどんどん新たな提案をしていって欲しいと思います。12月には次の学生会執行部の執行委員長と副執行委員長の選挙が行われ、1月には学生会執行部も新たな体制が決まります。新体制のもと、1月20日には学生会リーダー研修が実施され、学生会の1年間の行事計画を検討することになりますので、学生部としては新たな提案を引き出し「学生会活動の活性化」に引き続き努めていきたいと思っています。

校長補佐〔寮務主事〕 荒川 正幹

ARAKAWA Masamoto



日頃より白鳥寮の運営に対するご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。寮訓である「自律・友愛・協調」の精神にもとづき、寮生の成長の場として相応しい学寮を維持するよう、引き続き寮の運営にあたっております。

今年度、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、寮の運営をコロナ禍前の状態に段階的に戻しています。ただし、ウイルス自体の脅威は大きく変化していませんし、インフルエンザの流行も懸念されていることから、引き続き寮内における感染対策をお願いしているところです。万一、寮生が新型コロナウイルス感染症やインフルエンザになってしまった場合は、基本的には帰省をお願いしています。

送迎が難しいこともあるとは思いますが、ご理解とご協力をお願い致します。

白鳥寮では寮生による自治を目指した指導を行っています。自治の中心となるのは、寮生会の会長、副会長です。先日寮生会の選挙が実施され、第62代会長として制御情報工学科4年尼崎くん、副会長として物質工学科4年杉村さん、機械工学科3年柿並くんが選出されました。1年間の任期中、色々大変なこともあるとは思いますが、将来に向けていい経験になるはずですので精力的に頑張ってください。また、前会長の制御情報工学科5年杉山くんをはじめとする前役員の方皆さん、1年間お疲れ様でした。

昨年度はE棟東側の改修工事を実施しましたが、今年度は引き続き西側の工事を行っています。ご不便をお掛けしますが、寮生の生活環境改善のためですので、ご理解をお願い致します。E棟1階の居室部分を改修し、寮生が集まれる共用スペースとする計画であり、詳細については寮生会役員を中心に議論を進めています。

就職活動・進学活動に向けて

本校で実施している5年間（専攻科の場合は2年間）のキャリア教育を示したものが下図となります。1～3年次ではキャリア教育に関する授業の中で、将来の目標設定とその振り返り、および自己分析を行います。4年次では自己分析により特性を知った上で自身を生かせる業種・職種や企業の調査を行い、5年次に就職活動や進学活動に臨みます。

進路決定について、特に4年生はご家庭内で十分に話し合う機会を設けてください。希望する進路をより確実なものにするためには、企業（競合企業も含む）や大学等の情報を早期に収集することが重要です。



●就職活動

4年生の年度末である3月より、実質的な活動（各企業の説明会等）が開始されます。そのため、4年生の1月頃までに希望企業を調査・研究し、2月末までに企業を絞り込む必要があります。

●進学活動

専攻科を含め多くの大学が5月以降に試験を実施します。進学を希望する学生は、4年生の夏休み前に志望大学・学科を決定できるようにすると、余裕を持った活動ができます。TOEICの公式スコアを条件とするところもありますので、4年次末までに必要とするスコアを入手できるよう準備してください。

キャリア支援室長
一田 啓介
ICHIDA Keisuke

令和5年度の就職・進学活動は、5月より新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行し、特に面接試験はWebから対面へ戻る傾向にありました。とはいえWeb面接を継続採用している企業もありますので、対面とWeb両方の面接に対応できるように練習を行う必要があります。キャリア支援室では、教育コーディネーターと対面・オンラインによる進路相談ができる環境を整えていますので、ご活用ください。

就職関係の指導は、主に各学科の就職担当教員が精力的に行っております。キャリア支援室では、就職・進学に関する様々な情報を提供しており、教育コーディネーターによる進路相談も受け付けています。進路にお悩みの方は、各学科の就職担当教員や担任、キャリア支援室へお気軽にご相談ください。

キャリア支援室（資料コーナー：図書館棟1階食堂側入口横）には、HPだけでは得られない就職・進学に関する資料や、進路情報閲覧用のパソコンを置いています。また、本校Webサイト内にあるキャリア支援室の就職・進学情報（学内限定）、OB・OG等によるオンライン説明会、学内外における合同企業研究会等を積極的に活用し、有意義な情報収集を行ってください。

令和5年度
速報!

本科／専攻科就職・進学状況

2023年10月31日現在
就職内定先・進学内定先は50音順に表記
丸数字は内定者が複数いるときの人数

■機械工学科

求人社数 841社
就職希望者数 32人 (3)
進学希望者数 12人 (0)
就職内定者数 32人 (3)
進学内定者数 12人 (0)
() は女子内数

【就職内定先】

旭化成㈱
(株)エム・システム技研
協和キリン(株)
ダイキン工業(株)
テルモ山口(株)
西日本旅客鉄道(株)②
パナソニックエナジー(株)
ファナック(株)
三菱電機ビルソリューションズ(株)
(株)LIXIL

ANAラインメンテナンステクニクス(株)
(株)大阪防水建設社
新明和工業(株)
武田薬品工業(株)
東芝プラントシステム(株)
PACRAFT(株)②
浜松ホトニクス(株)
(株)富士テクノソリューションズ
安川電機(株)

ENEOS(株)
京セラ(株)鹿児島国分工場②
セントラル硝子(株)
(株)ディスコ
東ソー(株)南陽事業所
パナソニックインダストリー(株)デバイスソリューション事業部山口
(株)半導体エネルギー研究所
マブチモーター(株)
UBEマシナリー(株)②

【進学内定先】

宇部高専専攻科⑦
熊本大学 工学部

岡山大学 工学部
千葉大学 工学部

九州工業大学 工学部
室蘭工業大学 理工学部

■電気工学科

求人社数 865社
就職希望者数 30人 (1)
進学希望者数 12人 (0)
就職内定者数 29人 (1)
進学内定者数 12人 (0)
() は女子内数

【就職内定先】

アマゾンジャパン合同会社
関西電力(株)
シャープ(株)
中国電力ネットワーク(株)④
東洋銅板(株)
富士電機(株)
三菱電機エンジニアリング(株)
(株)山産

NECネットエスアイ(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
セントラル硝子(株)宇部工場
ディスコ(株)
パナソニックエナジー(株)③
(株)マイスターエンジニアリング
(株)モルテン
UBEマシナリー(株)

オムロン(株)
サントリーホールディングス(株)
中国電力(株)
(株)ティーユーエレクトロニクス
ファナック(株)
(株)三井ハイテック
安川電機オートメーション・ドライブ(株)
レイズネクスト(株)

【進学内定先】

宇部高専専攻科④
山口大学 工学部②

九州工業大学 工学部③

豊橋技術科学大学 工学課程③

■制御情報工学科

求人社数 757社
就職希望者数 25人 (2)
進学希望者数 12人 (0)
就職内定者数 25人 (2)
進学内定者数 12人 (0)
() は女子内数

【就職内定先】

(株)アイ・エス・ビー
ANAラインメンテナンステクニクス(株)
(株)クレスコ
サントリープロダクツ(株)
(株)ティーユーエレクトロニクス
日本たばこ産業(株)
パナソニックコネクタ(株)
メタウォーター(株)

アイテック阪急阪神(株)
NECネットエスアイ(株)
グローブライド(株)
ソフトバンク(株)
東芝ITサービス(株)
(株)日立ハイシステム21
(株)安川電機

(株)AXSEED
(株)NTTデータフロンティア
(株)サイマックス
中国電力ネットワーク(株)②
TOPPAN(株)
パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション(株)
三井化学(株)
ルネサスエレクトロニクス(株)

【進学内定先】

宇部高専専攻科⑤
九州工業大学 情報工学部③

大阪大学 工学部
豊橋技術科学大学 工学課程

岡山大学 工学部

■物質工学科

求人社数 573社
就職希望者数 23人 (10)
進学希望者数 11人 (5)
就職内定者数 23人 (10)
進学内定者数 11人 (5)
() は女子内数

【就職内定先】

旭化成(株)
京セラ(株)鹿児島国分工場
沢井製薬(株)
JASM(株)
ダイキン工業(株)
DIC(株)
パナソニックインダストリー(株)産業デバイス事業部
(株)三井化学分析センター

味の素(株)
協和キリン(株)
サントリープロダクツ(株)
第一工業製薬(株)
大日精化工業(株)
テルモ山口(株)
パナソニックエナジー(株)
ライオン(株)

花王(株)
協和発酵バイオ(株)
三洋化成工業(株)
第一三共プロファーマ(株)
中外製薬工業(株)
東レ(株)
(株)日立ハイテクフィールディング

【進学内定先】

岩手大学 工学部
鹿児島大学 工学部

宇部高専専攻科⑥
長岡技術科学大学 工学課程②

岡山大学 工学部

■経営情報学科

求人社数 573社
就職希望者数 33人 (28)
進学希望者数 12人 (7)
就職内定者数 32人 (28)
進学内定者数 8人 (7)
() は女子内数

【就職内定先】

アイテック阪急阪神(株)
(株)宇部情報システム
NECネットエスアイ(株)
ENEOS(株)
(株)九州日立システムズ
(株)三晃空調
太平洋マテリアル(株)
東京ガス(株)
(株)ニッキ
(株)日立システムズフィールドサービス
富士通(株)

アサヒビール(株)
(株)H4
NECフィールディング(株)
オリックス・ファシリティーズ(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
JRCS(株)
大陽日酸(株)
(株)トクヤマ
(株)ニュージャパンレジン
(株)日立ハイシステム21
(株)メンバーズ

ウナルステクノロジー(株)
(株)SRA西日本
NOK(株)
(株)カネカ
コベルコソフトウェア(株)
大正製薬(株)
テルモ山口
戸田工業(株)
ハイテクインター(株)
福岡銀行

【進学内定先】

宇部高専専攻科⑥

九州大学 経済学部

長岡技術科学大学 工学課程

■生産システム工学専攻

求人社数 736社
就職希望者数 14人 (0)
進学希望者数 6人 (1)
就職内定者数 13人 (0)
進学内定者数 6人 (1)
() は女子内数

【就職内定先】

(株)アイ・エス・ビー
NTTコムエンジニアリング(株)
ソフトバンク(株)
中電環境テクノス(株)
パナソニックインダストリー(株)
マツダ(株)
(株)メンバーズ

(株)宇部情報システム
セコム(株)
ダイキン工業(株)
(株)トクヤマ
ファナック(株)
三菱重工業(株)

【進学内定先】

九州工業大学大学院 生命体工学研究科
九州工業大学大学院 総合理工学府
東京工業大学大学院 工学院
奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
山口大学大学院 創成科学研究科②

■物質工学専攻

求人社数 467社
就職希望者数 5人 (2)
進学希望者数 2人 (0)
就職内定者数 5人 (2)
進学内定者数 2人 (0)
() は女子内数

【就職内定先】

大日精化工業(株)
DIC(株)
UBE(株)
中外製薬工業(株)
日東電工(株)

【進学内定先】

九州大学大学院 総合理工学府
山口大学大学院 創成科学研究科

■経営情報工学専攻

求人社数 483社
就職希望者数 7人 (4)
進学希望者数 0人 (0)
就職内定者数 7人 (4)
進学内定者数 0人 (0)
() は女子内数

【就職内定先】

NECネットエスアイ(株)
サンヨーコンサルタント(株)
山口県庁
ロジスティックソリューションズ(株)
(株)NTTデータSBC
(株)資生堂 茨木工場
UBEマシナリー(株)

就職編

私はこの度、ANAラインメンテナンステクノス株式会社から内定をいただきました。この就職活動を通して、大切だと感じたことがあります。

1つ目は、企業選びにおける軸を決めることです。勤務形態・給料・勤務地など、譲れないポイントを決めておくことでスムーズに企業を決めることができ、焦らずに就職活動ができると思います。私の場合は、高専で学んだこと(特に技術面)を活かせる職場、お客さんとの距離が近い職場の2つを主な軸とし、航空整備の会社に決めました。

2つ目は、企業の情報を早め集めることです。企業説明会に参加したり、同業他社との違いを調べたりすることで、履歴書の志望動機を書きやすくなり、面接でも役立ちます。また、履歴書・面接では必ず自己PRを聞かれます。そこでただ強みを伝えるだけでなく、企業が求める人材像を調べたうえで、そこに自分の強みを重ねてアピールすることが大切です。例えば、航空機整備の仕事では機長・客室乗務員など多くのスタッフとの連携が必要となります。そこで私は、自己PRを「相手の立場に立ち考える力」に絞り、履歴書、面接に臨みました。

最後になりますが、自信をもって面接に臨めるように早めの準備を心掛けて頑張ってください。

機械工学科
5年
谷口太陽

私はこの度、東レ株式会社から内定をいただきました。

私が就職活動の際、これは大事でやってあげばよかったと感じたことを2つご紹介させていただきます。

まず1つ目は、就職活動に使えるようなネタを作っておくことです。例えば、部活を5年間継続して行ったや学生会に入っていた、学校や市などが企画したイベントに積極的に参加したなど、勉強以外で自ら行動を起こして行い、そこで何を学んだかを作っておくと就職活動にとても有利です。

2つ目は、自分自身を早め知っておくということです。これは、自分が何に興味を持っているのか、どのような仕事・職種に就きたいのかなど具体的なビジョンを早い時期から探しておくということです。遅くとも4年生の夏前には決めておくのがベストです。4年生の夏休みにはインターンシップ、企業説明会などがあります。それに行くことで、企業研究をスムーズに行うことができ、履歴書の志望動機が書きやすくなります。

最後になりますが、このアドバイスが少しでも後輩の皆さんの助けになれば幸いです。自信を持って頑張ってください。

物質工学科
5年
新野 光

私はこの度、東洋製罐グループホールディングス株式会社様から内定をいただきました。

自身の就職活動を通じて、大切だと感じたことを紹介させていただきます。それは、準備をしっかりと行うことです。4年生では、企業説明会やインターンシップに参加し企業について知り、自身の就職活動の軸との一致点を知ることが大切です。ですが、自分自身の考えや就活の軸が企業説明会に参加する前に明確にするなど準備があるとさらに就職活動を進めやすくなると感じました。

実際に、興味のある業界や企業について書き出し、自分の興味のある仕事・業種についてもまとめておくことで決めやすいと感じました。

また、5年生で実際に就職活動が始まると履歴書の提出や面接などがあります。面接では、これまでの高専生活や頑張ってきたこと、これからやりたいことなどについて聞かれます。聞かれたときに答えられるように、自分がこれまで行ってきた活動を振り返って面接官にアピールできるようにしておくといいと思います。また、先生方や友人と面接練習を実際に繰り返すのも大切です。

電気工学科
5年
守山優希

私はこの度、富士通株式会社から内定をいただきました。就職活動を通して大切だったと思うことを2つ紹介します。

1つ目は、いろんなことを経験する事の大切さです。面接では学生生活での体験を聞かれます。なので部活動や勉強、資格取得、留学以外にも趣味の領域を広げることで良いと思います。その経験をするに至った経緯、その経験で何を学んだのか、何を感じたのか、どのように活かせるのか。面接のためのネタ作りという理由でも良いので何か自らチャレンジしてほしいです。

2つ目は、人と比べないことです。いい意味でも悪い意味でも人と比べなくて良いです。自分は自分のペースで進めて良いと思います。例えば、この人はこの対策をやってないから自分もしなくていいというわけではないですし、この人はもう就活終わってるから私も早く終わらせなければいけないというわけではありません。自分が今やるべきことをきちんとこなして、自分なりのペースで就職活動を進めることが大切です。

最後に、皆さんも早め早めの行動を心がけて悔いのない就職活動を行ってください。応援しています。

経営情報学科
5年
竹重真琴

私はこの度、パナソニック株式会社から内定を頂きました。

私が就職活動を通して、重要だと感じたことを2つほど紹介させていただきます。

1つ目は、面接の場数を踏んでおくことです。私の場合は面接練習を何十回も行い、専門学科の先生や一般科の先生、友人などたくさんの人に面接の相手をお願いしました。また、その時の質問と自分の返答をメモするようにしていました。場数を踏んでいくことで、面接自体に慣れ、どんな質問にも柔軟に対応することができました。

2つ目は、余裕を持って準備をすることです。5年生になって就職活動を始めると、自分が働きたいと思う会社を探す時間が足りなかったり、働きたいと思う会社が見つかったとしても書類の締め切りが過ぎていたりなど様々な問題にぶつかってしまいます。また、履歴書や面接も十分に準備できず、自分本来の力が発揮できない可能性もあります。早め早めの行動をすることで、企業選びや履歴書、面接を妥協せずに行うことができると思います。

最後になりますが、悔いの残らないよう精一杯頑張ってください。

制御情報工学科
5年
佐々木啓太

私はこの度、ファナック株式会社から内定をいただきました。自身の就職活動を通じて、私が大切だと感じたことを2つアドバイスさせていただきます。

1つ目は、企業に関する情報を十分に集めることです。特に面接では、履歴書に関する以外に、その企業特有の質問などがあります。それらの殆どは、内定に直結するようなものが多く、それに対して自分はどのように答えられるか、またその答えは自分の納得のいくものなのかをきちんと考えて、企業選びを行うことが大切だと思います。

2つ目は、周囲の人を頼ることです。多くの学生は、就職したい企業が、まだ明確に定まっていらないと思います。そんな時は、一人で抱え込まず、周りの人に相談してみてください。それだけでも自分の中で整理ができ、落ち着いて進路を決めることができるようになると思います。

最後になりますが、就職活動の準備は早めに始めることをおすすめします。遅れるほど焦ってしまい、本来の実力を発揮できなくなるからです。悔いのないように頑張ってください。

生産システム工学
専攻
2年
藤原佳達

アドバイス

活動を終えて～

進学編

私は来年度の4月に、九州工業大学工学部機械知能工学科機械工学コースに3年次編入します。私が大学に進学しようと考え始めた時期は4年生の前期ぐらいでした。きっかけは設計の授業の際に色々な専門科目の知識が役立つことを知り、より深く専門知識を学びたいと思ったことでした。

私が行った進学に向けての対策は、主に口頭試問に向けての勉強と面接対策でした。口頭試問では面接官から出された問題をその場で解くという形式でした。そのため、専門科目や数学などの基礎的な問題を素早く解けるように試験対策しました。面接対策では、志望動機や大学に進学してから何をしたいのかなどをあらかじめ考えて、先生や友達に面接練習をお願いしました。

最後に、私が思う進学活動で一番大事なことは、早く行動することです。どんな人でも受験が近づくと切羽詰まって、ストレスが溜まっていくと思います。その時に自分の志望大学の情報や試験の出題傾向を早く入手しておけば、受験の焦りが減り勉強にも集中できると思います。進学を希望している人は情報収集や試験対策などなるべく早くしていくことをお勧めします。

機械工学科
5年
工藤 滯士



私は、岡山大学工学部化学・生命系学科生命工学コースに進学する予定です。高専での学習を通して生命科学の魅力に気づき、将来は生命科学分野の研究者として活躍したいと考え進学を決意しました。

私が進路を決めた時期は、4年生の2月です。正直、決めるタイミングとしてはとても遅かったと感じています。しかし、その前から生物や化学の復習を定期的に行っていたため、岡山大学の編入試験勉強もスムーズに取り組むことができました。また、1年生のころから編入を意識し、学科順位をなるべく高く維持することを心がけていたため、推薦入試の条件を満たすことができました。

私が、皆さんへのアドバイスとして言えることは、「専門科目は普段から復習して記憶に定着させておくこと」と「学科順位のなるべく上を目指すこと」の2つです。定期試験が終わるとひと安心して勉強した内容を忘れてくなったり、単位が取れたらそれでいいと思ったりする気持ちも分かります。私もそれで何度も葛藤しました。それでも、諦めずに続けたことで編入試験で大きくプラスになりました。皆さんもこれを読んだ「今」からでも遅くないのでやってみてください。応援しています。

物質工学科
5年
中下 唯花



私は山口大学工学部電気電子工学科に3年次編入します。

私は宇部高専に入学した頃は、就職しようと考えていました。しかし、電気工学を学んでいく中で、その面白さや将来性を感じ、さらにその知識を深めたい、電子工学まで深く学びたいと思い、進学することを4年生で決めました。

私は、進学活動において話題の引き出しを増やすことが大切だと思います。履歴書や面接においてアピールポイントは多いほど良いです。例えば、良い成績を取る（5位以内・全科目優）、TOEIC（600点以上）、自主活動奨励事業が挙げられます。特に自主活動奨励事業でリーダーを務めた、賞を取ったなどという話は面接でも話しやすく、面接官からの反応も良かったです。電気工学科ではE-Projectとして活動を行っているの、参加することを強くおすすめします。

自分の強みを増やすためには、何事にも挑戦をし、困ったときは先生や先輩方をどんどん頼っていきましょう。

電気工学科
5年
砂井 慶



私は広島大学経済学部3年次編入試験を推薦で受験しました。推薦入試では志望理由書の提出と口述試験がありました。出願時の総修得単位数の75%以上が「優」であることが推薦要件だったため、高専の定期テストでもなるべく良い成績を取ることが大切だと思います。

進学に向けては、早めの行動を心がけることが重要であると実感しました。TOEICでより高いスコアを取ることや高専で学んだこと・大学で学びたいことをはっきりさせ、自分自身の目的を明確かつ具体的にしておくことで、直前に焦ることなく自信を持って受験に臨めると思います。行きたい大学や大学生活でのイメージが湧かない時には、オープンキャンパスに行ってみるのも良いと思います。

また、面接で自分のことをアピールするために、日々の勉強だけでなく、部活、地域教育、資格取得や留学など、高専生活で何か興味のあることにチャレンジして、経験しておくことが大事だと思います。

受験までの期間で、困ったことや不安なことがあるときは、周りにいる先生方や友人、家族に相談することをお勧めします。自分の後悔が残らないように頑張ってください。

経営情報学科
5年
田中 杏香



私は大阪大学工学部電子情報工学科情報通信工学科目に編入学します。

私は3年生までは専攻科の進学を考えていましたが、それまでの成績から、少し難易度の高い大学にチャレンジしたいと思うようになり、大阪大学を受験しました。大阪大学には推薦入試はなく、学力試験・面接・調査書の評価が行われました。

大学によって試験内容は様々です。例えば併願した九工大では学力試験はなく、推薦の場合は面接が免除されます。限られた中で自分をアピールするためには「経験」が大事であると思います。私の場合はロボット研究部とETロボコンでの活動や趣味の競技プログラミングを強くアピールしました。当日の実力を測る学力試験とは異なり、当日までの行動が面接や調査書で測られます。自分の強力な手札を用意しておきましょう。

また、学力試験も大学ごとに問題傾向が異なります。学校では学ばない範囲が出題される事もあるので、過去問を解くなどして対策しておきましょう。TOEICの点数を英語の試験結果とする大学も多く、TOEICに力を入れることをお勧めします。

制御情報工学科
5年
井上 晃志



私は、山口大学大学院創成科学研究科に進学します。大学院進学を希望する場合、特に研究室へのインターンシップをお勧めします。そこで研究内容や指導方針、教員や研究室の雰囲気を理解し、研究室の先輩方と関係が構築できる等のメリットがあります。これによりミスマッチを回避し、進学する研究室が自分に合っているか判断できます。

大学院への進学にあたり、早い段階から進路について考え、自発的に行動することが重要です。私は進路設計を繰り返しながら学生生活を過ごすことで、ボランティアやビジネスコンテストへの参加、資格の取得など、さまざまな経験を積むことで、自信を持って入試に臨むことができました。

入試においては研究を理解しているかが1番重要ですが、入試を受けるためにはTOEICが必ず必要です。TOEICはいきなり高得点を取るのが難しく、回数をこなして慣れる必要があります。積極的にテストを受けに行ってください。

最後になりますが、後輩の皆さんには、様々な活動に積極的にチャレンジし、楽しい高専生活を送るとともに納得のいく進路を歩めるよう応援しています。

物質工学専攻
2年
坂本 壮



今年度の学生活動をご紹介します！

第58回全国高等専門学校体育大会壮行会 8月4日(金)

8月4日(金)、学生会主催による第58回全国高等専門学校体育大会に参加する選手への壮行会が行われました。

全国高等専門学校体育大会は、地区別高専体育大会を勝ち抜いた選手が出場するもので、今年度は東京高専を中心とした関東信越地区の高専が担当で8月下旬に開催されました。



▲応援団によるエール



▲壮行会の様子

壮行会では、金寺校長から「皆さんを支えてくださっている方に感謝して大会を頑張ってほしい、活躍を期待している」、学生会執行委員長の斉藤さんから「これまで練習してきた成果を十分に発揮してほしい」と激励の言葉があり、応援団から力強いエールが送られました。

■全国高専体育大会参加競技 ()内は中国地区高専体育大会結果

【団体】バドミントン(男子団体優勝)、硬式野球(優勝)、サッカー(優勝)

【個人】陸上(男子三段跳3位、女子100m2位)、卓球(女子シングルス優勝)、水泳(男子200m自由形3位)、柔道(男子個人無差別級2位)、硬式テニス(女子ダブルス優勝、女子シングルス優勝)、弓道(女子個人 監督推薦)、バドミントン(男子ダブルス2位、男子シングルス優勝)

後期クラスマッチ 10月31日(火)

クラスマッチを振り返って

学生会企画部長 高砂 りこ (経営情報学科4年)

10月31日に後期クラスマッチを開催しました。今回のクラスマッチでは昨年度まで行っていた新型コロナウイルスによる制限をなくし、コロナ禍以前の方式での実施を目指して準備を行いました。昨年度までは使用する道具のアルコール消毒の徹底、開閉会式のオンデマンド配信などの対策をとっての開催でした。徐々に制限を緩和していき、今年度後期クラスマッチではコロナ禍以前の方式に近い形での開催を実現出来ました。また、閉会式の対面実施を再開し、順位発表と景品の受け渡しを行いました。全校生徒が集まる機会は私自身も高専に入学して初めての経験でした。また、改善点として競技種目が毎回ほとんど同じであることが挙げられました。そこで文化競技に任天堂スイッチのゲーム競技やトランプゲームを追加したり、ハロウィン競技として借人リレーを行ったりと競技の見直しを行いました。校内が熱気に溢れ盛り上がるクラスマッチになったと思います。



▲借人リレー



▲バスケットボール



▲ジェンガ

新型コロナウイルスが5類に移行したことを受け、宇部高専にもコロナ前の日常が戻ってきました。今年度の学生活動を紹介します。

➤ 第60回高専祭 11月18日(土)・19日(日)

第60回高専祭を振り返って

第60回高専祭実行委員長の黒川剣吾です！

今年の高専祭は11月18日と19日に【Re:】というスローガンのもと開催されました。このスローガンは Recall excitement(興奮を呼び覚ます)の頭文字をとったもので、コロナ禍で失った興奮や感動を思い出し、大きな壁を乗り越えて最高の高専祭を作ろうという意味が込められています。そのスローガン通り、コロナウイルスの影響で行えなかったバンドやダンスステージの無制限入場や模擬店の出店を再開することが出来ました。

私たち実行委員は、コロナ禍真っ只中に入學したので通常の高専祭を知りませんでした。そのため、難しいことや上手くいかないことが多く、準備の段階からとても不安に思っていました。しかし、その度に相談に乗ってくださる先生方や先輩方、一緒に考えてくれる仲間たちや後輩たちにとっても助けられました。誰か1人でもかけていたら行えていなかったと思います。

私達みんなで作り上げた、私達みんなだからつくることができた高専祭だったと思います。本当にありがとうございました！



高専祭実行委員長

黒川 剣吾
(制御情報工学科4年)



▲お菓子まき



▲吹奏楽部演奏



▲1日目オープニング



▲4M工学実験「ラジコン遊び」



▲キッチンカー (Reste Palette) に行列



▲2日目オープニング



▲バンド演奏



国際交流活動報告



令和5年度は、昨年度に続いて夏季海外研修にも多くの学生が参加しました。また、協定校短期留学生の前期受入を3年ぶりに実施しました。10月以降も16名の短期留学生が来校しており、キャンパス内外で日本人学生と様々な交流活動を行っています。ここでは夏休み以降の海外研修および国際交流活動について紹介します。

Report

01. 夏季語学研修・海外研修の実施

8月上旬から9月末までの夏季休業中、本校の学生60名が、本校が学術交流協定を結んでいる海外教育機関等で語学研修・海外研修を行いました。

研修先のオーストラリア、台湾、シンガポールで行った語学研修では、語学だけではなくそれぞれの国の文化も学ぶ良い機会となりました。シンガポール、マレーシア、台湾、韓国で行った海外研修（専門に関する実験・実習、3年生以上が参加）では、指導教員や研究室学生のサポートを得ながら各自が与えられた課題に取り組みました。



▲台湾・文藻外語大学語学研修



▲マラ工科大学（マレーシア）海外研修

① グローバルアントレプレナーシップ研修

例年実施している海外研修に加えて、今回初めてベトナムとフィリピンで「グローバルアントレプレナーシップ研修」を開催しました。ベトナムの研修には2～5年生までの7名が参加し、商工短期大学KOSENコースの3・4年生と電気工学や実習環境の改善に関するPBL（課題解決型学習）を行ったほか、ベトナム学生の日本語学習のサポート活動も行いました。

フィリピンの研修では、2～5年生の5名がセブパークにある日系企業を訪問してスタッフや現地エンジニアにインタビューを行い、海外で仕事することの醍醐味や苦労などを日本人CEOやマネージャーから直接聞くことができました。



▲グローバルアントレプレナーシップ研修（フィリピン）

② トビタテ！留学JAPAN高校生コース

トビタテ！留学JAPANに採択された学生2名は夏季休業中に自分の計画した研修を行いました。シンガポール・ナンヤンポリテクニックで機械工学に関する研修、オーストラリア・ニューカッスル大学で英語研修および食品に関する現地調査を実施しました。



▲トビタテ留学！JAPAN高校生コース&ニューカッスル大学（オーストラリア）語学研修

Report

02. 短期留学生の受入

① マレーシア・シンガポール・台湾から16名の短期留学生が来校中

短期留学生受入による「キャンパスのグローバル化」は、全国的にも知られている宇部高専の国際交流活動の1つです。今年度はコロナ禍で中断していた前期の受入（6月末から8月上旬）も再開し、年間を通じて短期留学生とキャンパスや寮での交流が可能になりました。

10月以降、マレーシア、シンガポール、台湾の協定校から16名の短期留学生が来校し、本校で実習を行っています。

マレーシア・マラ工科大学からは8名、シンガポール・ナンヤンポリテクニックからは4名の留学生が来校し、本校の各専門学科の研究室で実習を行っています。3～4ヶ月の研修期間中、本校の指導教員から出された課題に日本人学生と取り組み、研修の最後には成果報告会を行います。

また、台湾・文藻外語大学からは4名の学生が来校し、本校の英語や中国語の授業に教育実習生として参加しています。英語の教育実習生2名は、同大学の外語教育学系（将来台湾で英語の教員になる学生を養成する学科）に在籍し、本校で5ヶ月間の研修を行います。中国語の教育実習生2名は、同大学の応用華語系（外国人に中国語を教える教員や、中国語を用いた各種職業に従事する人材を養成する学科）に在籍し、4名とも3月初めまで本校に滞在し実習を行います。



▲クリスマスパーティーの様子

②学生会・寮生会企画による留学生ウェルカムパーティ

宇部高専には学内の国際交流活動を学生主体で企画・運営する学生組織として、学生会国際交流部と寮生会国際交流委員会があります。短期留学生の来校に合わせて、寮生会は10月16日に寮の食堂にて、学生会は11月9日に学生食堂にて歓迎会を行いました。

学生会国際交流部の歓迎会では、短期留学生が自己紹介した後、日本人学生と留学生でグループを作り、ゲームを行いました。寮生会では歓迎会以外にもスポーツ大会などの交流活動を定期的に行っており、多くの学生が留学生と交流を行っています。

③国際寮で「中国語ナイトスクール」

中国語の教育実習で来校中の文藻外語大学の実習生2名が、毎週月曜日に、国際寮1階スタディールームで希望する寮生に対して「中国語ナイトスクール」を行っています。台湾の観光地を紹介しながら台湾華語（台湾で使われる中国語）を学ぶ勉強会です。毎回10名程度の寮生が参加し、実際に現地で使う中国語を楽しく学んでいます。

④異文化体験ツアー in 宮島

11月25日、本校Student Ambassador (SA) の企画で「異文化体験ツアー in 宮島」を開催し、留学生・日本人学生合わせて43名が参加しました。

当日は厳島神社を全員で参拝した後、事前に決めておいた12のグループに分かれて宮島を散策しました。紅葉がちょうど見頃で、初めて見る美しい風景にみな立ち止まって多くの写真を撮っていました。留学生の一部はロープウェイで弥山に登り、獅子岩展望台から瀬戸内海を一望しました。

⑤文芸部とニーハロJAPANESEの活動

短期留学生との学内での定期的な交流活動として、文芸部が月曜日の放課後に「グローバル文芸部」、SAの学生が金曜日の放課後に「ニーハロJAPANESE」を開催しています。

文芸部は日本語や日本文化を楽しく伝えることをテーマに活動を行っており、マレーシアやシンガポールの短期留学生や本校の長期留学生に漢字表記の名前をプレゼントする活動を行いました。また、短期留学生による企画を行っており、マレーシア学生によるマレー語での挨拶、シンガポール学生によるシングリッシュ（シンガポールで使われる英語）のレクチャーも実施しました。

ニーハロJAPANESEでは、カードゲームやボードゲームを使って留学生との交流活動を行っており、毎回多くの日本人学生が参加しています。



▲留学生
ウェルカムパーティ
◀中国語
ナイトスクール



▲異文化体験ツアー
in 宮島
◀ニーハロJAPANESE



Report

03. その他の国際交流活動

①ゴーシュ先生による「ニーハロEnglish」「ニーハロAcademic English」

放課後にゴーシュ先生（バングラデシュ出身）による「ニーハロEnglish」、「ニーハロAcademic English」を実施しています。ゴーシュ先生の専門分野である理科に関連した内容を取り上げ、科学技術などについて一緒に考えたり、英語での発表にチャレンジします。低学年を中心に多くの学生が参加しています。



▲ニーハロEnglish

②グローバルエンジニア講演会

「グローバルエンジニア育成事業」の一環として、世界を舞台に活躍する本校卒業生等による「グローバルエンジニア講演会」を年に3回程度実施し、グローバルマインド醸成の機会としています。1月には専攻科修生（生産システム工学専攻）を講師に迎え、日本の企業（産業機械メーカー）における海外最前線、海外駐在員の仕事や生活について、5年間の海外駐在中の経験を交えながらその魅力について講演いただく予定です。

③台湾の高校生と日本語でオンラインおしゃべり

台湾・文藻外語大学五専部で日本語を学ぶ学生と、日本語でおしゃべりする活動で、今年度3年目になりました。10月からメンバーが一新され、本校学生22名、台湾学生13名が4～5人のグループを作り、毎回メンバーを変えながら交流します。おしゃべりのテーマは、今人気のアニメや漫画、放課後のアクティビティなどで、毎回テーマを決めて行っています。台湾学生の日本語学習のサポートも兼ねており、英語が話せなくても交流できることから人気の高い活動となっています。



▲台湾の高校生と日本語でオンラインおしゃべり

An illustration of two people in blue uniforms working on a large, glowing yellow lightbulb that sits atop a dark grey, tiered pedestal. One person on the left is using a ladder and a magnifying glass to inspect the base of the pedestal. The other person on the right is also using a ladder and a magnifying glass, appearing to work on the side of the pedestal. The background is a solid purple color.

今年度は、起業家教育を支援するためのスタートアップ事業に採択されたことから、アントレプレナーシップの強化にリンクしたテーマを8つ設定しました。これら8つのテーマを選択した学生は各テーマにおける課題発見・解決に加え、外部講師による「起業って何?」という題目の特別講演を受講し、授業で取り組んだ課題解決が新たなイノベーションを引き起こす可能性を経験的に学習しました。



各種大会優秀者の報告

高等専門学校体育大会や個人で出場した部外大会等における成績優秀者を紹介します。

大会名	種目	結果	学生氏名	学科学年
第58回全国高等専門学校体育大会兼 第46回全国高等専門学校テニス選手権大会	テニス競技 女子シングルス	2位	片桐 葵	物質工学科2年
	テニス競技 女子ダブルス	1位	中山 彩花	物質工学科1年
第58回全国高等専門学校体育大会	卓球競技 女子シングルス	2位	中尾 綾乃	物質工学科2年
	バドミントン競技男子団体	1位		
第59回中国地区高等専門学校体育大会	バドミントン競技男子シングルス	1位	杉山 稜太	機械工学科2年
	バドミントン競技男子ダブルス	2位	藤原 侑大	物質工学科2年
	サッカー競技	1位		
	硬式野球競技	1位		
	ラグビー競技	1位		
第39回中国地区高等専門学校英語 弁論大会	暗唱部門	1位	赤崎 百星	経営情報学科3年
第22回全日本ビーチバレーボールジュニア 男子選手権大会山口県予選会兼 2023特別国民体育大会 ビーチバレーボール競技選手選考会	ビーチバレー 競技	1位	河村 馨心	電気工学科3年



▲全国高専体育大会女子テニスダブルス優勝ペア



▲中国地区高専英語弁論大会暗唱部門優勝



プログラミングコンテスト 全国大会

競技部門

Member

制御情報工学科 5年 岡島 忍武
電気工学科 2年 池本 悠生
電気工学科 2年 山本 健一朗

今年の高専プロコン競技部門は、「決戦！in乗谷城」という、複数のエージェントを制御して効率的にマスを取り合う2チーム対戦型の陣取りゲームでした。

私たちのチームは、「1つの戦略に特化したストラテジストAI」と「どのストラテジストAIを使うのかを判断するAI」の2つを作成しました。多くの「1つの戦略に特化したストラテジストAI」を作成し学習させることで、どのような状況や対戦相手でも臨機応変に戦えるようにしました。人がエージェントを操作しコンピュータがそれを補助するという方法も考えましたが、コンピュータのみを使用して戦うということにこだわり、大会に臨みました。

試合では、初めのファーストステージでは勝利を収めましたが、ファイナルステージの1回戦目で敗北してしまいました。途中までは優勢でしたが、後半で逆転を許し、悔いの残る結果となりました。

賞をいただくことはできませんでしたが、時間をかけて作成したプログラムが実際に動き、接戦を繰り広げる様子を見て、感銘を受けました。また、多くの高専生と対戦や交流を通じて、非常に良い刺激を受けることができました。この経験を活かし、来年に向けて精進していきたいです。

最後に、これまで私たちを支えてくださったすべての方々に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



▲会場「サンドーム」での記念写真



▲競技の様子



▲会場に向かう新幹線で開発を続けるメンバー



アイデア対決

ロボットコンテスト 中国地区大会

Aチーム

Robot Name ウィンドハウル

Member

制御情報工学科 3年 友原 昊祐 電気工学科 4年 岩本 泰智
機械工学科 3年 三牧 權成

今年のロボコンの競技名は「もぎもぎ! フルーツGOラウンド」で、障害物の角材とロープを乗り越えて高いところにあるフルーツを収穫するという競技でした。

私達宇部高専Aチームが作ったのは「ウィンドハウル」という風車がモチーフの大きなロボットです。

このロボットはその巨体を利用して高いところにあるフルーツもとることができて、フィールドの障害物は大きな車輪とロボットを上下で分離させることによって突破します。

今回のロボットの制作で一番力を入れたのは、障害物を越えるためのロボットが上下で分離する機構です。

接続部のロックを固くしすぎるとギミックが上手く動かず障害物が越えられなくなり、逆にロックを緩くしすぎるとロボットが不安定になって壊れてしまうので、その調整が非常に大変でした。

大会の結果は1戦目が審査員判定で惜しくも敗北、2戦目は1点差で敗北と惨敗となってしまい非常に悔しいです。

最後にロボットの制作に協力していただいた先生方や技術職員の皆様、差し入れなどをしてくださった保護者やOBの皆様、本当にありがとうございました。来年こそいい結果を出せるよう精進して参りますのでこれからも応援の程よろしくお願いします。



Bチーム

Robot Name ペンタゴン

Member

電気工学科 3年 林 颯一 電気工学科 4年 山田 倫弘
電気工学科 3年 藤村 海人

今年のロボコンの競技名は「もぎもぎ! フルーツGOラウンド」で、障害物の角材とロープを乗り越えて高いところにあるフルーツを収穫するという競技でした。

私達宇部高専Bチームは「ペンタゴン」というペンギンをモチーフとしたロボットを制作し、2023高専ロボコンに参加しました。ロボットのアイデアの中に障害物のロープをくぐって越えるというものがあり、その動きがペンギンに似ていたのでモチーフをペンギンにしました。さらにロボットの名前の「ペンタゴン」にちなんで、五角形の要素をロボットのフレームなどに散りばめました。

「ペンタゴン」は斜めに立ち上がった状態から走行モードに姿勢が変化する機構を採用し、機械的に難しい構造が多く、大会までにロボットの調整が間に合わず本番直前まで作業に追われました。結果、私達のロボットは点を取ることができず試合に勝利することができませんでした。

今回のロボット製作を支えてくださった顧問の先生方や実習工場の技術職員の皆様、差し入れなどの様々な支援をくださったOB、OGの皆様、また手伝ってくださった先生方や学生の皆様、応援して下さった保護者の方々、本当にありがとうございました。今年の経験や反省を活かし、来年につなげていきたいと思っています。

今年も応援ありがとうございました。





U-16 プログラミングコンテスト 山口大会 2023

11月23日に本校で「U-16プログラミングコンテスト山口大会2023」を開催しました。3年目となる今回は、過去最多の50名のエントリーがあり、競技部門・作品部門とも大変盛り上がりしました。

競技部門



▲対戦の様子



▲決勝戦(自身のプログラムを見守る両者)

作品部門



▲デモンストレーションの様子



▲最優秀賞デモンストレーション



▲参加者全員集合



▲受賞者勢ぞろい

U-16プログラミングコンテスト山口大会2023を終えて

地域共同テクノセンター長 久保田 良輔

令和5年11月23日(木・祝)、本校でU-16プログラミングコンテスト山口大会2023を開催しました。本コンテストは、パソコンやプログラミングが好きな16歳以下の児童・生徒・学生の皆さんに、ITに対する興味を深めてもらい、将来のITエンジニア養成に繋げることを目的として全国的に開催されており、山口大会は今年で3回目となります。

競技部門では、碁盤目状のフィールドで自身の駒に命令を送り対戦するプラットフォーム：「CHaser」を用いて、プログラムによる1対1の対戦を行いました。県内の中学校、高校、高専から9名が参加し、自身が作成したプログラムによってアイテムを取り合い、最後までどちらが勝利するかわからない白熱した試合が多数ありました。

優勝は宇部市内の中学3年生でした。優勝した中学生は、昨年の大会においても準優勝しており、終始安定した試合運び、プログラムでした。宇部高専からも1年生1名が参加して3位となり、健闘しました。

作品部門では、自作のプログラムやゲーム、コンピュータグラフィックスなど、自由に作成したデジタル作品を審査員がアイデア、技術力、完成度の各観点から評価します。作品部門には、県内の小学生13名、中学生21名、高専生5名の計39名が参加し、参加者は前半と後半に分かれてデモンストレーションを行いました。デモンストレーションでは、展示した自身の作品について、事前に作成した作品説明シートや資料などを使って説明したり、来場者に体験してもらったりしながら、作品の見どころや工夫した点をアピールしました。今年で3回目の開催となりましたが、年を追うごとに作品のクオリティが高くなっており、プロと遜色ないゲームやWebサイト、マイクロコンピュータなどを活用した作品なども出展されました。また、テーマの幅も広がっており、単なるゲームにとどまらず、SDGsや健康増進、地域活性化などに着眼した作品も見られました。

最優秀賞を高専1年生が受賞し、優秀賞を小学校6年生と3年生がそれぞれ受賞しました。また、アイデア賞を中学生3名が受賞し、技術賞を高専生2名、中学生1名が受賞しました。さらに、スポンサー企業のうち12社からは、それぞれの企業名を冠した賞と副賞が授与されました。今年度からは、審査員特別賞も設けられ、小学校6年生が受賞しました。宇部高専からも1名が参加し、技術賞と(株)プライムゲート賞を受賞しました。



▶ 2023.8.23 Wed

【宇部高専】「宇部市ビジネスプランコンテスト」で最優秀賞受賞！

令和5年8月23日に開催された「宇部市ビジネスプランコンテスト」において、学生2チームが最優秀賞と審査員特別賞を受賞しました！
このコンテストは、宇部市が「うべ産業共創イノベーションセンター 志」(うべスタートアップ)の中で実施するイノベーション創出支援事業の一環で、次代の地域産業を担う人材育成を目的に開催したもので、本戦では、事前にエントリーされた計49チームから選ばれた7組がプレゼンテーションに臨みました。

宇部高専では今年度、文部科学省補助金「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」の採択を受けており、スタートアップ人材教育の一環として社会の変化や困難に対する新しいアイデアや価値を生み出す力を育成する「アントレプレナーシップ教育」を展開しています。

本大会に参加したのもその取り組みの一つで、最優秀賞を受賞したUBEシーパートナーズ(宇部高専内模擬会社)は砂浜を汚染するマイクロプラスチックごみを回収して浄化することで社会貢献できるビジネスプランを、自主活動グループ E-Project チーム「KOUSSENSAI」は日本の人口減少や少子化に着目して子育て世代や保育施設に向けた支援ビジネスプランを提案し、見事、各賞に輝きました。

校長報告の際には、金寺校長から「受賞おめでとうございます。どちらも今必要とされるプランです。今後も継続して挑戦し続けてください。」と激励の言葉が送られました。



▲最優秀賞！(UBEシーパートナーズ)



▲審査員特別賞！(チーム「KOUSSENSAI」)



▲校長報告後の記念写真

心よりお礼申し上げます

宇部しらとり会(同窓会)から、学生の屋外授業や課外活動に役立ててほしいとの趣旨で、黒球式熱中症指数計22台をご寄贈いただきました。

令和5年10月20日(金)、本校校長室で贈呈式を行い、磯村尚史会長および学内会員3名の方にご出席いただきました。

ご寄贈いただいた黒球式熱中症指数計は、熱中症に関わる要因の日射や輻射熱を測定でき、直射日光が当たる場所でも使用可能で、炎天下でも正確なWBGT値の測定が可能なものです。

首にかけたり、胸ポケットにも取付けられるため、屋外授業や課外活動での安全管理に活用させていただきます。

引き続き、本校の活動にご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



▲贈呈式の様子



▲本校同窓会会員と一緒に記念撮影



独立行政法人国立高等専門学校機構

宇部工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Ube College

〒755-8555 山口県宇部市常盤台2丁目14番1号

TEL(0836)31-6111[代表]

FAX(0836)21-7117

<https://www.ube-k.ac.jp/>

Search the site!

宇部高専

go

